

大阪美しい景観づくり推進会議 参画団体の景観づくり活動報告書

【平成30年度】

目 次

P 3 はじめに

(参画団体)

P 4 大阪商工会議所

P 5 独立行政法人都市再生機構

P 6 公益財団法人 大阪都市整備推進センター

P 7 公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

P 8 公益社団法人 大阪府建築士会

P 9、P 1 0 大阪屋外広告美術協同組合

P 1 1 大阪広告美術協同組合

P 1 2 一般社団法人 大阪府老人クラブ連合会

P 1 3 関西電力株式会社

P 1 4 一般社団法人 大阪ビジネスパーク協議会

P 1 5 豊中ロマンチック街道21世紀の会

P 1 6 公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

P 1 7 富田林地内町をまもり・そだてる会

P 1 8 特定非営利法人 八尾すまいまちづくり研究会

P 1 9、P 2 0 景観人の集い

P 2 1、P 2 2 千里山 まちづくり協議会

P 2 3 マチャ・テラス

P 2 4 枚方宿地区まちづくり協議会

P 2 5 大阪市

P 2 6 大阪府

はじめに



■大阪美しい景観づくり推進会議の目的

私たちがとりまく環境はさまざまなもので構成されています。こうした要素を一体と覚ることが景観です。それゆえに環境に関わる人みんなが一体となって取り組んでいかなければ、景観はよくなっていきません。

大阪美しい景観づくり推進会議は、府民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、ともに協働して景観づくりに取り組むことにより、大阪の豊かで世界に誇れる美しい景観づくりを府民運動として展開していくことを目的に、景観づくりに積極的に取り組んでいる府民や事業者の参画を得て、平成6年12月1日に設立されました。

■景観とは何でしょうか

「景観」は「景」を「観」ること成り立っています。つまり、私たちのまわりにあるさまざまなもので構成されている環境を、私たち人間が眺め、感じたものが「景観」といえます。私たちは、まわりにある環境の状態を、さまざまな感覚を通して感じるによって評価したり、チェックすることができます。

私たちの感覚の中では、視覚が支配的になりがちです。そのため、景観でも視覚的な側面が強調されることが少なくありません。しかし、私たちの体は、感覚すべてを使って環境を感じとっています。よい景観とは、視覚だけでなく、音や香り、触覚などすべて感じがよい状態のことです。

さて私たちをとりまく環境、また、それを眺めた状態である景観はどのように形づくられているのでしょうか。景観はさまざまな要素から成り立っています。山並みや川、海といった自然の要素は、私たちの景観の土台や骨格を形づくっています。また、農地やため池、建築物や道路、橋りょうといった構築物があります。さらにこうしたさまざまなものが集合して景観は成り立っているのです。

私たちの生活は、環境にさまざまな働きかけを行います。そして、環境を変えたりもします。こうした行為が積み重なって景観が形づくられていきます。そうした意味では、景観は私たちの生活文化が形になって表れたものであるといえます。

単なるうわべの化粧ではよい景観を形づくることはできません。質の高い生活文化があつてこそ、本当によい景観ができるのです。(『大阪府都市景観ビジョン(平成7年)』 1 都市景観づくりの基本的方向 から抜粋)

1. 大阪商工会議所

2. URL: <http://www.osaka.cci.or.jp/>

3. 活動趣旨、目的

- 大阪に住み、働く市民の誇りを高める「大阪シビック・プライド醸成事業」を通じて、大阪の都市ブランドの向上、都市の魅力発信を図る。
- 企業、団体、地域住民など様々な主体と連携し、まちの「賑わいづくり」「美しさ・魅力づくり」「安全・安心」の3つの観点から、都市活性化事業に取り組む。



《本町橋橋洗い》

4. 平成 30 年度の活動実績

○大阪の繁華街ミナミにおける環境浄化と環境美化に向けた取り組み

大阪を代表する繁華街ミナミにおいて、地元が取り組む客引きや放置自転車対策などの環境浄化と環境美化に協力するとともに、ミナミの魅力の創出・発信を図ることで、だれもが安全安心で楽しめるまちづくり活動を行った。

具体的には、なんば駅前広場化の取り組み等に協力するとともに、地元・行政・経済界で構成するミナミ活性化協議会（構成：大阪商工会議所・大阪府・大阪市・大阪府警察・関西経済同友会）の代表者会議（平成 31 年 1 月 31 日開催）において、「安全安心で、快適なまち」と「魅力とにぎわいのあふれるまち」の実現に向けた共同アピールを採択するとともに、同日、啓発パレードを実施して地元の機運醸成を図った。

○まちの環境美化に向けた活動の推進

- ・大阪の水辺を活かしたまちづくり活動を行った。特に東横堀川界限については、「東横堀川水辺再生協議会」（略称：e-よこ会）が実施する、月1回の清掃活動の継続的な実施や川沿いの緑化活動を支援している。
- ・また、東横堀川にかかる大阪市内最古の現役橋「本町橋」（大阪市指定文化財）周辺の環境美化、魅力向上に向け、地元住民、企業、店舗などとともに設立した「本町橋100年会」で毎週の清掃活動に取り組んでいるほか、9月には大阪市中心区役所と連携し、地域住民や企業の方々とともにデッキブラシで橋をきれいにする“橋洗い”を実施した。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

引き続き、ミナミを中心とした客引きや放置自転車対策などの環境浄化と環境美化に向けた取り組み、及び大阪の水辺に重点をおいたまちの環境美化に向けた活動を継続する。

1. 独立行政法人都市再生機構

2. URL: <http://www.ur-net.go.jp/>

3. 活動趣旨、目的

機能的な都市活動及び豊かな都市生活を営む基盤の整備が社会経済情勢の変化に対応して十分に行われていない大都市及び地域社会の中心となる都市において、市街地の整備改善及び賃貸住宅の供給の支援に関する業務を行うことにより、社会経済情勢の変化に対応した都市機能の高度化及び居住環境の向上を通じてこれらの都市の再生を図るとともに、都市基盤整備公団から承継した賃貸住宅等の管理等に関する業務を行うことにより、良好な居住環境を備えた賃貸住宅の安定的な確保を図り、もって都市の健全な発展と国民生活の安定向上に寄与することを目的とする。

4. 平成 30 年度の活動実績

○景観に配慮したまちづくりの誘導

「人が輝く都市」を目指して、美しい景観づくりや安全・安心な暮らし及び環境配慮等の取り組みを進めるため、関与している事業地区において、「景観ガイドライン」を策定し、まちづくりの誘導を実践。

○フォト&スケッチ展 2018

2018 年度は、フォト&スケッチ展 10 回目の開催を記念し、これまでの歩みを振り返る作品展を平成31年2月 22 日～24 日に横浜で開催。

○OUR賃貸住宅の屋外空間の魅力を伝える『美団地(Vi Danchi)』

具体的なまちづくりや景観形成誘導等の検討に資する情報の共有並びに都市デザインの発展に寄与することを目的とし、ホームページに「美団地(ヴィ・ダンチ)」をアップし、UR賃貸住宅団地の景観形成等に係る情報を発信。

○景観づくりに係る平成 30 年度の受賞実績

鳥飼野々二丁目団地(摂津市)において、グラフィックデザインの手法を建物外壁に展開するリノベーションを行い、街の色どりと連続しながら適量に個性を残す配色や、地域とのつながりも感じさせる鳥をモチーフにしたグラフィックスが、環境を生かすデザインとして評価され、グッドデザイン賞を受賞。



5. 平成 31 年度 活動予定内容

○フォト&スケッチ展 2019

2019 年度からはコンセプトをリニューアルし、新たなコンテストを開始する予定。

1. (公財) 大阪府都市整備推進センター

2. URL: <http://www.toshiseibi.org/>

3. 活動趣旨、目的

市街地の整備・開発・保全に係るまちづくりの推進を図るとともに、公共用地の有効活用による都市環境の改善及び建設発生土等を活用した環境共生型のまちづくりを行うことにより、大阪府域における秩序ある良好な市街地の形成に寄与することを目的とする。

4. 平成 30 年度の活動実績

まちづくり初動期活動サポート助成

大阪府域において地域住民が主体となった「まちづくりに係る初動期の活動」を支援するため、助成を行うものです。

(1) 助成の対象とする「まちづくり活動」は次のものです。

(ア) 土地区画整理・市街地再開発・道路整備・公園整備等の「街の形づくり」を目指した活動

(イ) 地区計画・建築協定・緑化協定などの「ルールづくり」を目指した活動

(2) 「まちづくりの目的」が次のような活動も助成の対象とします。

(ア) 防犯、防災、バリアフリーなどの「安全・安心なまちづくり」を目指した活動

(イ) 良好なまちなみ・景観の保全、生活道路整備などの「良好な住環境の保全・住環境の改善」を目指した活動

(ウ) 空き店舗の活用やポケットパークの整備などの「街なかの再生」を目指した活動

(エ) 交通渋滞の改良や交通安全対策などの「交通環境、交通問題の改善・解消」を目指した活動
など

○はじめの一步助成部門 4 団体

○初動期活動助成部門 6 団体

5. 平成 31 年度 活動予定内容

応募受付 平成 31 年 5 月 7 日頃～5 月 15 日ごろ (予定)

審査会 平成 31 年 6 月 20 日頃 (予定)

助成決定 平成 31 年 6 月下旬 (予定)

1. 公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

2. URL: <http://www.ogtrust.jp/>

3. 活動趣旨、目的

府民の参画や協働による自然環境の保全運動及び緑化運動を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与する。



《御堂筋アメニティ事業》

4. 平成 30 年度の活動実績

○緑の募金事業

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、「緑の募金」の衆知を図るとともに募金運動を積極的に展開し、市街地の緑化の推進、森林の整備、緑づくりの活動支援等に努めた。

「緑の募金」運動を、幅広い参加による府民運動として推進していくために、大阪府、府内市町村、公立私立各種学校関係、ボースカウト・ガールスカウト・緑の少年団などの青少年団体、経済団体、企業、市民団体の積極的な協力を得て実施した。

・生駒山系花屏風構想の推進

大阪の市街地から見渡せる生駒山系を屏風に見立て、府民の皆さんとの協働で、花や紅葉の美しい樹木を植樹し、生駒山系に四季折々の彩りをもった屏風として、次世代に引継ぐ“生駒山系花屏風構想”を推進するための植栽活動や維持管理活動への支援を行なった。

○御堂筋アメニティ事業

御堂筋の美化を目的に、御堂筋の緑地帯(淀屋橋～難波:約 3.2 キロメートル)にあるフラワーベース 52 基に、花卉類を植え付けて花と緑による装飾を施し、都市の緑化の推進とアメニティの向上に寄与した。

○「グリーンウェイ」の取り組み

今年度より国連が定める国際生物多様性の日(5月22日)に、世界各地の子どもたちが学校や地域などで植樹等を行う「グリーンウェイ」(活動が地球上の東から西へ広がっていく「緑の波」)のオフィシャル・パートナーとして、府内での植樹活動や森林の手入れ等の活動を促進した。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

平成 30 年度と同様に、より広く府民からの参画を求めながら、引き続き、事業実施する。

1. (公社)大阪府建築士会

2. URL:<http://www.aba-osakafu.or.jp/>

3. 活動趣旨、目的

建築士が地域社会の発展に寄与するため、建築士と地域住民等が連携しながら、まちの景観や地域環境を高める様々な地域貢献まちづくり活動に対し活動費助成(地域貢献活動基金の活用)や技術支援を行う一方、大阪市・吹田市・箕面市の景観整備機構団体の指定を受け、景観まちづくりの調査、まち歩き等のイベント、後援等を行なっている。



《大阪市の豊崎長屋でのセミナー風景》

4. 平成 30 年度の活動実績

○まちづくり活動団体への助成実績

- ・営利を目的としない活動団体を対象に景観部門・一般部門に分けて募集し、審査の上、景観形成など地域貢献にふさわしいテーマとなる事業に対し、最長 3 年のまちづくり活動助成を行っている。
- ・平成 30 年度は 1 団体、河内いえ・まち再生会議による活動テーマ「みんなの DIY 講座:大工塾・左官塾」に対し助成した。(本件の助成で通算 34 件目)

○建築士会会員等による、まち歩きなどの景観まちづくり活動

- ・先導的にまちづくり活動を行っている地域のまち歩きや講演会を通じて、それぞれのまちづくり理念や手法、建築士の関わり方等について、市民の参加を得ながら情報交換や啓発活動を行っている。
- ・近畿建築士会協議会活動の一環として、近畿の建築士むけに大阪長屋の魅力とまちのリノベーションを学ぶセミナー及び交流会を、大阪市北区の豊崎長屋等で開催した。

○イベントの後援(他の景観まちづくり活動の支援)

- ・オープンナガヤ大阪実行委員会主催「オープンナガヤ大阪(大阪の古い長屋を公開し情報発信するイベント)」の後援を実施した。(23 年度から 8 年目)

5. 平成 31 年度 活動予定内容

- ・前年度と同様に、まちづくり活動団体への助成、士会会員による景観まちづくり活動、イベントへの後援を行う。
- ・大阪府が都市景観施策として予定しているビュースポット選定事業への広報協力等を行う。
- ・古地図等をツールに使いながら、地域の景観とその成り立ちを総合的に捉え、実践的に景観まちづくりを学ぶ講座(講義・まち歩き)を開講する。

1. 大阪屋外広告美術協同組合

2. URL: <http://www.daikokyo.or.jp/>

3. 活動趣旨、目的

当組合は、屋外広告を通して様々な情報を発信すると共に、まちを活気づける役割を果たしています。
また、周囲の景観と調和し、うるおいのある生活空間づくりに役立つメディアとしての役割も担っており、行政と共に法の下に美しい景観をめざした街づくりを進めています。

4. 平成 30 年度の活動実績

○「屋外広告物適正化旬間(9月1日～10日)」キャンペーン

当組合の全国組織である日広連等三団体主催の全国的運動に連動して、平成30年は「変わりゆく人や未来を照らすサイン」を標語に、都市景観の向上と公衆に対する危害防止キャンペーンを展開。今年度は八尾市(9/3)および枚方市(9/6)と共催して駅を中心とした主要商店(街)を訪問し、チラシの配布等を通じ法令順守と安全確保、よりよい景観を訴える啓蒙活動を実施しました。(その他に予定していた高槻市と寝屋川市は、台風の影響により中止となりました)。

○第5回大阪景観広告フォーラムの実施

安全で良好な広告景観をめざした活動で、平成30年度は「都市景観における屋外広告物のあり方について」をテーマに、街の景観にふさわしく、街の個性にマッチした屋外広告物による街の価値向上についての講演や、屋外広告物の適正管理により安全安心な街づくりの推進について意見交換を行い、官民双方があらためて意識を高める場となりました。

○違法広告物撤去のボランティア活動

①大阪市「かたづけ・たい」活動

平成14年10月より路上の「はり紙」の撤去活動を3か月に1回継続実施。「かたづけ・たい」精神の周知啓蒙活動を積極的に展開しています。張り紙は目に見えて少なくなり、継続の重要性を実感しています。

②堺市「路上違反簡易広告物除却活動員制度」に参加

活動認定団体として、はり紙撤去ボランティア活動を展開中。平成16年12月の活動開始以来、堺市エリアを中心に4か月に1度、年間3回活動しています。

○「屋外広告士」資格取得の推進、技術の向上

関連法規と広告景観に関する知識等を有する人材の確保のため、「屋外広告士」資格取得を積極的に推進、毎年試験と事前講習会を行います。また有資格者のみならず、技術と技能の向上をめざして会員向けに各種研修会を開催、美観や安全に配慮したアドバイザーとしての人材の育成にも尽力しています。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

- ・9月の「屋外広告物適正化旬間」には、30年同様引き続いて官民連携による活動を検討中で、官民で都市景観向上と危害の防止のキャンペーン活動を展開する予定。
- ・秋に「第6回景観広告フォーラム」を実施予定。大阪府下の地域で官民によるまちあるきを検討中。
- ・大阪市、堺市のボランティア活動も継続実施予定。

《第5回大阪景観広告フォーラム H30.11.20》



《屋外広告物適正化旬間パトロール活動風景》



(八尾市 H30.9.3)



(枚方市 H30.9.6)

1. 大阪広告美術協同組合

2. URL: <http://www.kanban-oac.or.jp>

3. 活動趣旨、目的

法令順守や安全点検の啓発を推進することにより、美しい景観づくりへの認識を広げる。



《かたづけ・たい 活動風景》

4. 平成 30 年度の活動実績

○大阪市「かたづけ・たい」活動への参加

活動認定団体として年4回、沿道における違反簡易広告物(はり紙・はり札等)の撤去活動を実施。

○堺市「路上違反簡易広告物除却活動」への参加

活動認定団体として沿道における違反簡易広告物(はり紙・はり札等)の撤去活動を実施。

○法令等広告景観に関する講習会の開催

屋外広告物の条例等の勉強会を開催し、法令遵守を啓蒙した。

○違反広告物の掲出禁止、関係法規等の周知

行政からの呼びかけに応じて、文書配布や広報誌・HPにより組合員へ周知させた。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

○大阪市「かたづけ・たい」活動への参加

○堺市「路上違反簡易広告物除却活動」への参加

○違反広告物の掲出禁止、関係法規等の周知

1. 一般財団法人 大阪府老人クラブ連合会

2. URL:<https://www.sc-osaka.org/>

3. 活動趣旨、目的

老人クラブの全国三大運動(健康・友愛・奉仕)の一環として毎年 9 月 20 日に全国一斉「社会奉仕の日」とし、5 月 30 日は大阪府内で「ごみゼロの日」とし地域の環境美化活動に取り組む。

4. 平成 30 年度の活動実績

○老人クラブ「社会奉仕の日」

・ 全国老人クラブ連合会並びに都道府県・政令指定都市老人クラブ連合会が提唱して、毎年 9 月 20 日に『社会奉仕の日』を設定し、又、9 年度からは府下一斉に 5 月 30 日に『ごみゼロの日』を設定し、「花のある町、ゴミのない町」をスローガンに、クラブ員参加のもとに環境美化活動に取り組むことにより、地域社会に対する感謝を示すとともに、地域の担い手としての活力を広く示す。

(府内 29 市町村の連合会、1,366 クラブ、22,654 人)

5. 平成 31 年度 活動予定内容

○大阪府老人クラブ連合会「ごみゼロの日」(9月20日)

○老人クラブ「社会奉仕の日」(9月20日)

※その他に各市町村の連合会や地域の単位クラブごとで、道路や公園などの清掃美化・緑化活動を実施

1. 関西電力株式会社

2. URL: <http://www.kepco.co.jp/>

3. 活動趣旨、目的

電力施設の建設・維持にあたって、都市計画・地域開発計画と協調を図るとともに街並みにあわせた変電所づくり、景観に配慮した配電設備の採用等、景観の保全と環境との調和を求めた取組みを行う。また、発電所においても景観への影響を実行可能な範囲で低減する。さらに、地域の皆さまと協力して実施している地域環境美化等を通じて景観づくりに努める。

4. 平成 30 年度の活動実績

【電線地中化】

- ①：実施場所・・・大阪府守口市南寺方南通3丁目～門真市栄町（国道163号線）
実施時期・・・平成30年11月
路線長・・・4,400m
方式・・・電線共同溝方式
- ②：実施場所・・・寝屋川市初町
実施時期・・・平成30年12月
路線長・・・700m
方式・・・電線共同溝方式

5. 平成 31 年度 活動予定内容

平成30年度同様に、道路管理者と協力しながら、地中化工事を進めていく

6. 整備状況写真(平成 30 年度の活動実績)

【①国道163号守口・門真地区】

【②寝屋川駅前線初町地区】

【整備前】



【整備後】



1. 一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会



2. URL: <http://www.obp.gr.jp/index.html>

<http://obp.osaka/index.html>

3. 活動趣旨、目的

立地企業や行政機関との連携により、OBPのまちづくりや付加価値の向上に取り組んでいる。

現在は、「機能複合」「活力魅力」「環境共生」「安全安心」の4つの目標を実現する「リノベーション型スマートコミュニティ」を目指して、平成25年度から、立地企業の先端技術を活用した取組みを中心に各種の事業を推進している。



4. 平成30年度の活動実績

放置自転車の撲滅・美化の推進啓発活動（駐輪マナー&クリアップキャンペーン活動の実施）
大阪市関係局と連携して、参加者を2班に分けてOBPのエリア内を行進しながら民地内放置自転車への啓発タグ付け、駐輪場利用の呼びかけ、歩道上、植樹帯、河川公園の清掃活動を実施。
大阪市環境局のキャラクター「アカンずきん」も一緒に「なくそう！迷惑たばこ」の啓発も同時に行った。

■ 第1回 駐輪マナー&クリアップキャンペーン

日時：2018年6月8日（金）

参加者：120名（OBPワーカー、建設局関係者、環境局関係者）

■ 第2回 駐輪マナー&クリアップキャンペーン

日時：2018年9月27日（木）

参加者：110名（OBPワーカー、建設局関係者、環境局関係者）

■ 第3回 駐輪マナー&クリアップキャンペーン

日時：2018年12月7日（金）

参加者：100名（OBPワーカー、建設局関係者、環境局関係者）

■ 第4回 駐輪マナー&クリアップキャンペーン

日時：2019年3月1日（金）・・・現時点で予定で記載しています

参加者：参加予定100名（OBPワーカー、建設局関係者、環境局関係者）

5. 平成31年度 活動予定内容

平成30年度と同様に、放置自転車の撲滅・美化の推進啓発活動として、OBPワーカー、行政と一緒に、年4回の駐輪マナー&クリアップキャンペーン活動を行っていきます。

1. 豊中ロマンチック街道21世紀の会

2. URL: <http://romachika.com/>

3. 活動趣旨、目的

- <1> 光がつなぐ人と街づくり
- <2> 住みたいを叶える街づくり
- <3> 人が集い、文化あふれる商業づくり



《ガンバ大観戦バスツアー》



《花壇整備》

4. 平成 30 年度の活動実績

○花壇整備

毎月第一木曜日の午前10時～11時に豊中ロマンチック街道の花壇を整備する街の美化活動の一環と、豊中ロマンチック街道が大阪府からアドプト・ロードに認定されていることもあり、大阪府池田土木事務所の協力も得て整備作業を行う。

○花いっぱいプロジェクト

大阪府主催の花いっぱいプロジェクトで、野畑小学校の児童と共に街道に花を植える

○豊中ロマチカまつり参加

「I LOVE TOYONAKA」エリアに初出店し、ソフトクリームを販売。

○ロマチカ祭り2018

9月30日、昨年的好评を受け豊中ロマンチック街道でお祭りを開催予定だったが、台風の為中止。

○ガンバ大阪観戦バスツアー

ガンバ大阪豊中後援会主催のツアーに協力

○ロマチカハロウィンお昼寝アート撮影会

会員店でお昼寝写真の背景を用意し、希望者に撮影場所を提供

○ロマチカイルミ2018

約10年ぶりに、街道の一部エリアの街路樹にイルミネーションを点灯。
シンボル花壇には大きな光るトナカイを設置

5. 平成 31 年度 活動予定内容

- ロマチカハロウィンウォーク
- ロマチカ祭り
- ガンバ大阪観戦バスツアー
- 広報活動(新聞・チラシ)
- イルミネーション



《ロマチカイルミ》

1. 公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

2. URL: <http://www.osaka21.or.jp/>

3. 活動趣旨

★ 七夕の夜、人々の願いごとを託した LED(発光ダイオード)を光源とする光の玉「いのり星®」をいっせいに大川(旧淀川)の川面に放流し、天の川伝説にゆかりの深い天満を「天の川」にします。

★ 最先端技術 LED と伝統行事の七夕を組み合わせ、都心を流れる一級河川を光の帯で埋め尽くす「平成 OSAKA 天の川伝説」は、ここ大阪で誕生した、世界でも比類のないプロジェクトです。

★ 大阪市域の約 10%を占める河川の水面を活かすことが、都市景観づくりに最も相応しいとの思いから、大阪人の才覚を発揮し、川そのものを光で埋めつくすイベントです。

活動目的

★ 一人ひとりの心に光を灯し、優しい心を育み、人々の和をひろげる

★ 川面を見つめる機会を創出し、河川愛護と水環境への関心を高める

★ 大阪における新たな夏の風物詩をつくり、観光集客に寄与

★ 河川の新たな夜間景観を創る

★ 志民による市民のためのまちづくり運動を醸し出す



平成 OSAKA 天の川伝説 イベント風景



実施場所

4. 平成 30 年度の活動実績

平成 OSAKA 天の川伝説 2018

(7月7日、大川に LED 球 6 万個を浮かべ天の川を創出)

◎ 7月6日～8日に及んだ豪雨による会場の増水等により **中止**

5. 平成 31 年度 活動予定内容

(新元号) OSAKA 天の川伝説 2019 (第 11 回) の開催

主 催： 一般社団法人 おしてるなにわ

共 催： 公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

日 時： 2019 年 7 月 7 日 (日) 18:00～21:00 《雨天予備日：8 月 7 日》

場 所： 大川(天満橋)～堂島川、土佐堀川(ばらぞの橋付近)

放流個数： 約 70,000 個 (内：一般・招待放流数 約 8,000 個)

1. 富田林寺内町をまもり・そだてる会

2. URL

URL: <http://park10.wakwak.com/~kouryukan/t.0mamori.html>

連携 HP: <http://park10.wakwak.com/~kouryukan/>

提携 HP: <http://www5d.biglobe.ne.jp/~heritage/mamori-sodateru-kai.html>

3. 活動趣旨、目的

富田林寺内町に残る優れた歴史的町並み・文化遺産を保存・継承し、豊かな町づくりを目指す。



城門筋：日本の道百選のひとつ。

大阪府ではほかに御堂筋、フェニックス通り

4. 平成 30 年度の活動実績

- 指定管理者として、「富田林市立じないまち交流館」の管理・運営および自主事業を実施。
- 企画文化部会の自主事業として寺内町の各町会の見学会を実施(H30/6/10,9/9,12/9,H31/3/10:予定)。
- 企画文化部会の理事研修会を京都「興正寺」で「H30/10/7」に予定するも台風による本堂修理のため延期。
- 「じないまち交流館」の自主事業として「富田林寺内町の歴史講座と町並みツアー」を開催(H30/7/28)。
- 富田林寺内町の歴史と文化の継承を目的として「寺内町歴史講座」を開催(H31/1/27,2/24/3/31:予定)
- 女性交流部会の設立。(準備会:H30/7/8)(部会:H30/10/4、H31/1/24,4/14:予定)
- 富田林寺内町拡大選定記念事業の実施(H30/11/23)
- 富田林寺内町空き家バンク・基金
 - ・理事研修会の実施(H30/7/21)・実施要綱の設定(H30/9)・制定準備会(H31/1/31:予定)・結成総会(H31/2/28:予定)。
- 一般社団法人富田林寺内町町並み保存会の設立(H31/1 予定)
- 「寺内町清掃」の実施(町会との共催、H30/9/2)。
- 「第 9 回寺内町月見の会」を会員相互の親睦行事として実施(H30/9/23)。
- 「寺内町瓦版 70 号、71 号、72 号(予定)の発行と配布。(発行日:H30/7/25、H30/11/25、H31/3/25(予定))
- 「富田林寺内町きり絵カレンダー」の発行と配布および一般販売(H30/12)。
- 「じないまち四季物語 2018『夏』第 15 回 富田林寺内町燈路」を共催(H30/8/25)。
- 「じないまち四季物語 2019『冬』第 11 回寺内町かわい新春初鍋めぐり」にて、「ぼたん鍋」を出店(H31/1/12)。
- 「じないまち四季物語 2019『春』第 13 回 じないまち雛めぐり」にて、「交流館カフェ」を出店(H31/3/9、10 予定)。
- 「富田林寺内町連絡協議会」に係る結成総会報告書の発行(H30/6)。
- 「まもり・そだてる会会員見学会(愛知県名古屋市・有松)」を実施予定(H31/3/24)。
- 総会(年 1 回)、役員会(月 1 回)、理事会(年 5 回)、他に理事見学会等、各部会での会議/行事を開催。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

- 「一般社団法人富田林町並み保存会」の運営。
- 当会の部会(企画文化・事業親睦・広報協働・管理運営)活動を通じて、引き続き、①「優れた景観・町並み・文化の継承と保存」への啓蒙活動を行う。② 来訪者にも住民にも喜ばれる「適度な賑わい」と「癒し」のある住環境の保全とまちづくりの推進を行う。
- 伝統的建造物保存修理事業の推進。
- 上記 4. 項に記載の恒例事業の実施。

1. 特定非営利法人 八尾すまいまちづくり研究会

2. URL: WWW.machi-ken.com/

3. 活動趣旨、目的

地域にねざしたすまいまちづくりを実践するための調査研究と、行政と住民との協働のまちづくりを行い、もって豊かな地域社会の創造と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。NPO 法人八尾すまいまちづくり研究会は、略称『まち研』とも、呼ばれています。



《‘住宅月間行事’での展示の様子》

4. 平成 30 年度の活動実績

主に八尾市を中心に活動しています。

伝統民家の保存・記録を目的とした、伝統民家調査

介護保険住宅改修助成金理由書作成・工事検査の受託

八尾市内再開発計画案、まちづくり提案、耐震診断・改修

住まい・まち体験学習の企画・運営

八尾市が企画する「八尾らしいすまいづくり推進事業」を業務受託

秋に開催される‘住宅月間行事’での展示「八尾の建築案内ー伝えたい建築ー」と同タイトルの冊子作り

定期で実施されている‘出前 住まいる講座’

‘住宅相談’

など、一般市民を対象とした住まいに関する啓発活動を継続的に行っています。

また、NPO 独自の活動としては、地域のまちづくり活動支援、古民家調査、先進都市の視察、防災かまどベンチづくりの企画・運営・設営協力、各委員会による自主勉強会なども行っています。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

住まいる講座「リフォーム×耐震補強」塾、八尾市伝統的民家の追跡調査、毎月のすまいづくり相談室

相談員派遣(八尾市)、住宅月間の展示／イベントの企画・運営・記録(八尾市)、親子で楽しむ「住まいの体験教室」企画運営(八尾市)、伝統民家調査、HOPENEWS、まち研かわら版の作成発行、交流会・研修会の企画、運営、防災事業 かまどベンチ など

1. 景観人の集い

2. URL: なし

3. 活動趣旨、目的

○泉大津市の風土を反映した景観を市民皆で共有しまちづくりについて考えることを目的としている。

《主な活動》

- ・歴史こぼれ話: 有料で参加募集を行い、講師から泉大津を含む泉州周辺の話聞く。
- ・泉大津市ウォーキング: 市内の景観を参加者と見て歩く。ウォーキングコースの見所解説や写真を入れたマップを作成し、市役所ロビーで展示する。
- ・絵のあるまちづくり: 市内の公共の建物に落書き防止のため絵を描く。
- ・まちかど探検隊: テーマを決めて一般募集を行い、入選作品を発表する。



《絵のあるまちづくり 南海鉄道高架東側》

4. 平成 30 年度の活動実績

○歴史こぼれ話

3 回開催。

○景観人の集いパネル展の実施

『景観人が見たわがまち泉大津』の展示(開催期間: 1月28日～2月8日)

※ 景観シート作成にあたり、特に印象に残ったものをまとめたもの。

景観の移り変わりについてもまとめている。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

・景観人の集いパネル展の実施

・歴史こぼれ話

・お地蔵さんマップの作成(市内のお地蔵さんの位置や各地蔵についてのいわれ等をまとめたもの)

平成31年 歴史こぼれ話

幕末・明治や南北朝時代の日本と泉大津

講師

検本 多加三 先生
新山学院大学非常勤講師
 歴史学者
 (愛知県「碧島列島」観光大使)

幕末に詳しい歴史家として歴史ワークショップや講演などでも大人気。今日も興味深い歴史のおもてなしを楽しい語り口で聴衆の隅り届けていただきます。

2月23日(土) 第1回『大久保利通と幕末・明治』
 3月9日(土) 第2回『泉州の幕末・明治』
 4月13日(土) 第3回『南北朝時代の泉大津周辺』

会場：アクスピア大坂 3階 301会議室
 時間：各回10:00～12:00(受付9:45～)
 会費：各回500円(当日受付にてお支払いください)
 主催：泉南市民会 泉人の会 同窓会 電話(0725)33-9320(夜間)
 泉大津市役所都市づくり政策課

「泉人の会」ホームページ
 http://www.izumi-no-kai.com/

※本館に駐車場はありませんが、駐車場により近の無料駐車場をご利用いただけます。お申込みの際ご確認ください。

「泉人の会」ホームページ
 http://www.izumi-no-kai.com/



《歴史こぼれ話 チラシ》



《歴史こぼれ話》



《パネル展示》(市役所 1 階ロビー)



《絵のあるまちづくり 松之浜曾根線西側》

1. 千里山 まちづくり協議会

2. URL: <http://blog.goo.ne.jp/chisato-wind>

3. 活動趣旨、目的

本協議会は大正時代に郊外住宅の理想郷として開発され、また戦後西日本初めての講談重太樹が建設されるなど、伝統ある千里山地域をより美しく、より豊かで生き生きとした街にする為に、地域住民や商業者その他関係者が協力しながら行政や関係機関、専、門家と協働して、安心安全なまちづくりの方策を検討し、次世代により良い環境の千里山を引き継ぐことを目的とします。

4. 平成 30 年度の活動実績

- ・春の散策会
- ・秋の散策会
- ・千里山駅周辺まちづくりへの提案
- ・千里山団地後工区の関電不動産の事業計画に地域住民を支援
- ・千里山駅西歩道整備の見守り
- ・千里山自治会と連携し地域課題への取り組み
- ・会報「ちさとの風」発行
- ・「大阪美しい景観づくり推進会議」に参画
- ・定例会開催

5. 平成 31 年度 活動予定内容

- ・本会主催の春秋の「散策会」、「講演会」などを実施する
- ・本会設立15周年記念イベントの開催
- ・仮称「千里山バスプロジェクト有志の会」へ参加、協力をする
- ・千里山地域の各種団体のイベントに参加、協力する
- ・千里山の無電柱化に向けて吹田市道路課と連携して活動する
- ・「大きな古時計プロジェクト」を中心に、保富庚午にまつわる情報収集などをおこなう
- ・「まちづくり作法集」を活用して、千里山地域の景観の保全・創成に努める
- ・会報「ちさとの風」(4月,10月)、「ちさとの風WEB」(適時)を発行発信し、活動の広報に努める
- ・「大阪府美しい景観づくり推進会議」に参加する
- ・そのほか、会員に対して吹田市や各種団体の説明会、講習会、見学会などへ参加を呼びかけ、行政や関連組織との連携・交流・情報交換を行う
- ・千里山商栄会主催の上方落語会「ちさと亭」への企画協力をする
- ・吹田市立千里山コミュニティ協議会に協力する
- ・上記計画の具体的内容、及び新規計画事項については、奇数月第3土曜日に行う定例会や分科会で、意見を集め検討しながら活動を進める

活動時の写真



散策会（於：都市緑化植物園）



パネル展示（於：千里寺）

1. マチヤ・テラス

2. URL: <http://fukei.exblog.jp/>

3. 活動趣旨、目的

高槻市における歴史まちづくりの活動
まちに残る町家を「まちのたからもの」として見つめなおし、
存在を証明し、保存や活用につなげ、まちの未来の子ども
たちに伝えることを目指して活動しています。

4. 平成 30 年度の活動実績

大阪北部地震、西日本豪雨、台風(21号と24号)による被害とその上塗りへの建築(計画・設計)的対処
協力を優先した一年となりました。(平成31年1月現在も生活再建へのお手伝いは終わっていません)
地元高槻にとって平成30年は特別な年として記録されるものと思います。

1. 高槻町家についての活動: 町家の保全・活用についてご相談いただき、お手伝いしています。

・空き店舗活用企画(未完)

西国街道芥川宿の古い木造空き店舗について、土地利用方針決定までの期間、宿場町案内所カフェ
(子どもたちの地域学習お絵かきワークショップ会場)として暫定利用する企画です。結局、案内所を一度
試行したのち大阪北部地震があり、建物の撤去が決定。その後の計画は流れました。

・古民家再生

古民家の再生活用(耐震診断、耐震補強設計、改修設計)に協力しました。(ただし高槻市外)

2. 町家調査

・町家や屋敷の地震等による被害状況の調査など

登録文化財になるのをお手伝いした城下町町家の地震被害の調査を要請により実施。以前作成してい
た実測図に被害状況を記入してご提供。今後の補修や活用についてのご相談にも応じました。ほか城下
町や宿場町の町家についてもご相談をお受けしました(すべて無償)

3. マチヤ・トココ(まち歩き)

・旧城下町や芥川宿などのご案内などにも随時応じています。

・平成29年に作成協力した「富田まち歩きマップ」によるまち歩きへの企画段階でのご協力を行いました。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

高槻が城下町であり、高槻町家があること。このあかしがまちから消えようとしています。大規模災害、空家
問題もあり、古い町家が撤去される傾向に拍車がかかる状況下、まちの地理や歴史、地縁と深く結びついてい
る町家をいかに生きたまま後世に伝え得るか、これを問い続けて活動することになります。

1. 枚方宿地区まちづくり協議会

2. URL:<http://hirakata-shuku.org/>

3. 活動趣旨、目的

目的 地域の歴史を生かし、地域住民が誇りを持てる
活気と魅力あるまちをつくる。

方針 東海道 57 次 56 番目の宿場町として、また、
淀川水運の中継地として栄えた枚方宿のにぎわい
を取り戻し、ここに住む人と訪れる人が触れ合い
ながら、枚方宿のまちの新しい形を創出する。



4. 平成 30 年度の活動実績

(1).行事

* 五六市開催	12 回開催
* 枚方オクトーバーフェスト参加	1 回参加
* 街道菊花祭開催	1 回開催
* ガーデニング開催	2 回開催
* 俳句大会開催	1 回開催
* 研修会(見学会)開催	1 回開催

(2).部会活動

* 情報バンク見学会	1 回開催
* まちづくり協定運営部会	景観保全に向けて、7 件の建築物件について、 建築業者と協議及び、調整



(3).会議

* 臨時総会開催	2 回開催
* 役員会開催	6 回開催
* 幹事会開催	6 回開催
* 各部会開催	
町家情報バンク部会	2 回開催
まちづくり協定運営部会	5 回開催
街道菊花祭部会	5 回開催
ガーデニング実行委員会	2 回開催
くらわんか五六市部会	24 回開催

5. 平成 31 年度 活動予定内容

五六市部会

 夜市と竹アートの開催

アドバイザーと新たな取り組み

 創立 20 周年に向け、新たな出発点のモデル創り

活動拠点の創設

1. 大阪市

2. URL: <http://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/category/3054-1-2-5-0-0-0-0-0-0-0.html>

3. 活動趣旨、目的

大阪が、今後とも活力ある都市として発展していくためには、市民や大阪を訪れる人々が大阪に美しさや魅力を感じ、快適に暮らし、活動できるまちであることが重要である。

都市景観の形成は、このようなまちづくりを進める上で重要な役割を果たすことから、地域の特性を生かし、都市の美しさや魅力を創造・発展させることを目的として、まちなみや水辺等の都市景観形成に向けた取組みを進めている。



《大阪市の景観資源例》

4. 平成 30 年度の活動実績

○都市景観に係る調査・計画の立案

今後の景観施策の展開として大阪市における眺望景観や夜間景観のあり方について検討を進めている。

○大阪市景観計画に基づく行為の届出・事前協議の実施

地域の特性をいかした建築物等の誘導を図るため、大阪市景観計画に基づく行為の届出及び事前協議を行っている。

○御堂筋デザインガイドラインの運用

本市のシンボリストリートである御堂筋のにぎわいと魅力あるまちなみ創造、ひいては御堂筋の活性化を推進するため、「御堂筋デザインガイドライン」「御堂筋沿道建築物のデザイン誘導等に関する要綱」等に基づく建築物等の誘導を行っている。

○地域との協働による景観まちづくりの推進

市民等による自発的な景観の保全・整備の一層の推進を図る観点から、大阪市都市景観条例に基づく地域景観づくり推進団体の認定等により、地域との協働による景観まちづくりを推進するため、必要な支援を行っている。

○景観に関する市民や事業者の意識の啓発

市民や事業者の景観に関する意識の啓発を図る観点から、大阪市都市景観条例に基づく都市景観資源の登録の取組みを進めている。

また、新たに景観を形成する景観上特に優れた建物やまちなみを表彰し、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、都市景観に対する意識の高揚を図るため、大阪都市景観建築賞(愛称大阪まちなみ賞)の募集・表彰を行った。

5. 平成 31 年度 活動予定内容

眺望景観・夜間景観のあり方についての都市景観委員会の中間とりまとめを踏まえ、地域の眺望・夜景特性をいかした建築物等の誘導と地域主導のまちづくりによる眺望・夜景づくりの推進が図られるよう、景観施策の充実に向け、景観計画の変更案の作成を行う。

また、市民や事業者による地域主導の景観まちづくりの取組を促進するため、必要な支援を行う。

1. 大阪府

2. URL:http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/keikan-ustukushii/

3. 活動趣旨、目的

大阪府内に点在する自然、歴史・文化、地域の個性などの景観資源を守り、創り、育て、活用し、きらりと光る個性豊かで、多彩な大阪の魅力を更に高め、世界に発信していくことで、多くの人々を惹きつける「きらめく世界都市」として、大阪を発展させていく。また、大阪の魅力を更に高め、質の高い、生活文化に根ざした個性的で優れた景観とすることにより、そこに住む人々に誇りと愛着をもつことができる生活空間を創造していく。

これらを踏まえて、府の景観形成の基本目標を『きらめく世界都市・大阪の実現』と定め、景観行政に取り組んでいる。



《大阪府の景観資源例》

4. 平成 30 年度の活動実績

○ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクトの開始(第 1 回ビュースポットおおさかの募集開始)

世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を眺めることができる場所(ビュースポット)を発掘し、「ビュースポットおおさか」として選定、府域内外に情報発信することで、府民・事業者・来訪者の景観への興味・関心の向上を図り、府域全体の良好な景観形成を推進する取り組みを平成 30 年度より開始。(第 1 回ビュースポットの一般募集を平成 31 年 2 月 18 日から 5 月 17 日まで行っている。選定は夏頃の予定。)

○景観法に基づく景観計画による景観形成の推進

大阪府では、景観法に基づく景観計画を策定し、広域的な観点から景観上重要な区域(道路軸、河川軸、山並み・緑地軸、湾岸軸、歴史軸等)を定め、区域内で大規模な建築行為等を行う際には、良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項への適合をお願いし、良好な景観形成へ向けた規制誘導を実施している。

○市町村の景観行政団体化に対する取り組み

大阪府及び府内市町村により構成されている「大阪府景観形成誘導推進協議会」において、大阪府および市町村が行なう景観行政に関して、相互の理解と把握、及び協力、調整等を行うことにより、調和のとれたまちなみや個性豊かなまちなみの創出や保全に取り組んでいる。また、府内市町村の景観行政団体化に対する取り組みを積極的に推進していくために、「景観行政団体部会」、「非景観行政団体部会」を設置し、専門的な内容について情報交換等を行っている。

○大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ賞)の開催

大阪まちなみ賞は大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部、(一社)日本建築協会の共催で、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、府民の都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的に実施している。一般府民等から「建物」や「建物を中心としたまちなみ」を募集し、その中から景観上優れたものについて「大阪府知事賞」、「大阪市長賞」、「審査員特別賞」、「緑化賞」、「建築サイン・アート賞」、「奨励賞」の各賞を設け表彰している。

<第 38 回 大阪まちなみ賞実績>

大阪府知事賞 : 豊中市立文化芸術センター
大阪市長賞 : 中之島フェスティバルタワー・ウエスト
審査員特別賞 : 近畿大学 ACADEMIC THEATER(1~5 号館)／国際学部棟(18 号館)
緑化賞 : コイズミ緑橋ビル
建築サイン・アート賞: TB-SQUARE
奨励賞 : 宇部興産 大阪研究開発センター、関西電力病院、大阪商業大学 ユニバーシティ・コモンズ・リアクト、天満・菅原町の蔵、吹田グリーンプレイス



《大阪府知事賞：豊中市立文化芸術センター》

5. 平成 31 年度 活動予定内容

○「きらめく世界都市・大阪」の実現に向けて、「府民・事業者・来訪者などの民間団体等」、「市町村」、「大阪府」の適切な役割分担のもと、引き続き景観まちづくりに取り組む。

近年の活動状況

(過去にご回答いただいた活動を取りまとめています)

■(公財)関西・大阪 21 世紀協会 URL:<http://www.osaka21.or.jp/>

u 近年の活動内容

○「大阪ブランド発信バナー」の掲揚

御堂筋を中心とする様々なイベントと連携して、大阪ブランド発信を目的としたバナーを掲揚することにより、大阪のブランドイメージアップと都市景観の向上をはかる。

■西日本電信電話株式会社 URL:<https://www.ntt-west.co.jp/>

u 近年の活動報告

○景観に対する建物配慮

○屋外広告物(CI ザインマニュアル、NTT 屋外広告物ガイドの作成)

○電線、電柱の地中化

○電柱の美化等(カラー電柱、はり紙防止板の設置)

○公衆電話ボックス(岸和田市だんじり型電話ボックス等)

■ライオンズクラブ国際協会 URL: <http://www.lionsclubs.org/JA/>

u 近年の活動報告

○環境保全に関する奉仕活動アイデア調査

・組織下164 クラブ、6,600 名に対して、景観づくり、環境保全の為の CO2 削減の大切さを徹底しそこから(輪)を広げる。

○優秀な環境保全活動を実施したクラブを表彰する。

○青少年、子供達、地域社会の方々と共に CO2 削減に取り組む。(シンポジウムの開催など)

○川・海特に水の問題に取り組む。

・大和川、淀川などの美化運動

○会員に対する環境啓発活動の徹底。

○植樹等の緑化運動、校庭の芝生化。

○「地球温暖化防止」研修会を各地で開催してもらう。

○里山の保全に取り組む。

■(一財)大阪府老人クラブ連合会 URL:<http://sc-osaka.org/>

u 近年の活動報告

○老人クラブ「社会奉仕の日」

・全国老人クラブ連合会並びに都道府県・政令指定都市老人クラブ連合会が提唱して、毎年 9 月 20 日に『社会奉仕の日』を設定し、又、9 年度からは府下一斉に 5 月 30 日に『ゴミ 0 の日』を設定し、「花のある町、ゴミのない町」をスローガンに、クラブ員参加のもとに環境美化活動に取り組むことにより、地域社会に対する感謝を示すとともに、地域の担い手としての活力を広く示す。(府内 40 市町村の連合会:3,978 クラブ)

○地域の実情に沿ったアイデアある活動

・主要道路沿線・空き地を利用して花壇造り、緑化運動などの「花のある町」活動

・公園・バス停・駅前広場・歩道橋・堤防・その他公共の場所及び公共の標識の清掃・美化などの「ゴミのない町」活動

■(一社)大阪ビジネスパーク協議会

URL:<http://www.obp.gr.jp/>

u 近年の活動報告

○開発理念

大阪城公園と一体となった「公園の中のビジネス街づくり」

○組織づくり

地区内の土地所有者各社(13社)により協議会を組織し、「互いに共同し本計画地における市街地の造成を図り、大阪ビジネスパーク計画の実現に期する」とする協定を締結し、事業を推進。

○開発手法

- ①民間個人(共同)施行による土地区画整理事業により、地区内の公園、道路、下水道等の基盤整備、スーパーブロックの採用
- ②建築物の整備にあたっては、建築協定(平成16年12月・10年間延長)と総合設計制度を導入し、壁面後退と容積緩和を併用するなどして、調和のある都市空間と都市環境の形成を図る。

○地区環境美化運動

地区のより良い環境を維持するため、ビル周辺及び地区の一斉清掃活動(毎月1回)並びに「クリーン&マナーアップ」キャンペーン(年4回)を推進。

○放置自転車対策

駐輪場設置(H23.4)。

○リノベーション事業の推進

今後の低炭素化及びスマートシティ化に向けた指針を作成

○「たばこ市民マナー向上エリア制度」

大阪市と協定して、地域社会におけるマナー意識を高め快適なまちづくりを進める。(バナー啓発)

■大阪府建築協定地区連絡協議会

◆活動趣旨、目的

大阪府内の建築協定地区を対象とし以下の活動方針で実施

- ① 建築協定の啓発と推進及び活動を支援する。
- ② 府内行政手続きの統一及び簡素化を目指す。
- ③ 府内の各地区の情報交換と交流を進める。
- ④ 行政との協力・連携を維持・活性化させる。

u 近年の活動報告

○「まちなみ魅・趣・覧(み・しゅ・らん)」の実施

良好な住環境を維持するためには建築協定だけでなく、住民の維持する努力が欠かせないことから

「まちなみ魅・趣・覧」は、景観・組織・活動などの評価で、専門家および幹事が訪問・ヒアリングの結果をふまえ、その地区を★の数で称えることを趣旨で実施。平成27年度は東香里京阪住宅地区(枚方市)と東香里京阪住宅地区(枚方市)を訪問して評価。

○建築協定研修会の実施

枚方市で開催。テーマは「建築協定について」、「東香里京阪住宅地区の建築協定の更新と運営の取り組み」、「建築協定の運営」、講演「まちとところを豊かにする建築協定の運営」(鈴木克彦教授)

○機関紙「まちなみ通信」の発行:第39号:2016年4月発行(45,000部)

○協定地区の表示プレート製作の助成:2地区に表示プレート製作補助を実施

○建築協定の課題の検討

自動更新についての取り扱いの課題について、幹事と行政と協議

○幹事会の実施:年9回実施。

○総会の実施

平成27年度活動方針、事業計画並びに予算案の審議・承認。

講演「転換期を迎えた建築協定のあり方」(鈴木克彦教授)

■みのお市民まちなみ会議

URL: <http://minohmachinami.cocolog-nifty.com>

u 活動主旨、目的

箕面市の景観啓発活動。

箕面の美しい景観を守り育てる。

u 近年の活動報告

○定例会議

月に1回のペースで、会員による定例会議を開催。活動状況の報告、課題の討議などを行う。

○会報 まちなみ通信・みのお 発行

58号 7月 発行 500部

59号 11月 発行 500部

市長、市議会議員、市役所まちづくり関連部署に配布、行政の窓口で配布、各図書館、学校、その他市施設で配布、会員の手により知人に配布、会員の参加する団体の会合で配布などを行っている。

○第19回まちなみパネル展 歴史を語る箕面の古民家 開催

28年3月に開催した上記パネル展のパネルを利用して、市内各地で開催。6月:東生涯学習センター、7月:ライフプラザ、9月:市民活動センター、10月:池田泉州銀行。11月:NPOフェスタと共催、29年3月箕面の古民家 part II 開催予定。

○歴史を語る箕面の古民家 パンフレットを発行

この数年の古民家の調査・写真撮影、データベースづくりの活動報告として、古民家啓発のパンフレット(A4カラー8ページ、1500部印刷)を3月に発行、まちなみ通信と同様の方法で配布、また29年3月実施のパネル展で来場者に配布予定。

○タウンウォッチングの実施

会員・箕面市民を対象とするタウンウォッチング(市内・市外)を実施。市民には、市の広報誌「もみじだより」にて参加者を募集している。4月は、阪急阪神ええまちづくり隊とタイアップ、阪急阪神沿線住民 を案内。また、箕面市シニア塾のまち歩き・箕面探検コースの講師・案内を引き受ける。

○箕面市市政60周年記念式典で、功労表彰を受ける(12月1日)

■国土交通省

URL: <http://www.mlit.go.jp/>

u 近年の活動報告

○都市景観大賞の募集と表彰

・良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指す。

募集期間:平成 29 年 10 月 4 日～平成 29 年 12 月 25 日

参考:<https://www.udc.or.jp/publics/index/69/>

屋外広告物適正化旬間の実施

○屋外広告物の適正化を一層推進するため、毎年 9 月 1 日～10 日までを実施期間の基本として設定し、屋外広告物法及び、同法に基づく条例の普及啓発、違反屋外広告物に対する国民や企業の意識啓発を推進していく。

○都道府県、政令指定都市、中核市、業界団体・連合会等へも、協力依頼を行う。

○各自治体における当該旬間中の取り組みや活動の実績について、旬間終了後に取りまとめ、公表する。

参考:<http://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/index.html>